

目 次

まえがき	iii
第6章 データ・セットの編成法とアクセス方式	341
一. はじめに	341
二. データ・セットのレコード形式	350
1. 固定長レコードの形式	351
2. 可変長レコードの形式	353
3. 不定長レコードの形式	363
三. 待期アクセス技法と基本アクセス技法	364
1. 待期アクセス技法	365
1) GETマクロ命令	レコードの取り出し 366
2) PUTマクロ命令	レコードの書き出し 366
3) PUTXマクロ命令	更新レコードの書き出し 367
2. 基本アクセス技法	368
1) READマクロ命令	ブロックの読み取り 368
2) WRITEマクロ命令	ブロックの書き出し 370
3) CHECKマクロ命令	入出力オペレーションの完了テスト 371
4) WAITマクロ命令	入出力オペレーションの完了待ち 372
四. 順次データ・セットの処理	372
1. QSAMによる順次データ・セットの処理	374
1) 移動式による処理	375
2) 位置指定方式による処理	387
3) 位置指定方式の入力とレコードの更新	391
4) 置換方式による処理	391
5) 制御文字を使った場合の処理	394
2. BSAMによる順次データ・セットの処理	398

1) BSAMによるデータ・セットの作成	397
2) BSAMを使ったレコードの直接取り出し	401
3) BSAMを使ったレコードの更新	402
五. 区分データ・セットの構成とその処理	403
1. 区分データ・セットの構成	403
2. 区分データ・セットの処理	408
1) 区分データ・セットの作成	409
2) 区分データ・セットのメンバーの取出し	414
六. 索引順次データ・セットの構成とその処理	419
1. 索引順次データ・セットの構成	419
1) 主要データ域	422
2) 索引域	423
3) あふれ域	425
2. 索引順次データ・セットの処理の仕方	428
1) 順次処理	428
2) 直接処理	429
3) レコードの追加	430
4) レコードの削除	430
5) データ・セットの再編成	432
3. QISAM による索引順次データ・セットの処理	432
1) 索引順次データ・セットの作成	434
2) 索引順次データ・セットの順次取出し	438
3) 索引順次データ・セットの順次更新	441
4. BISAM による索引順次データ・セットの処理	443
1) 索引順次データ・セットの直接取出し	445
2) 索引順次データ・セットへのレコードの追加挿入	448
3) 索引順次データ・セットの直接更新	449
七. 直接データ・セットの構成とその処理	451
1. 直接データ・セットの構成	452
1) 制御番号をアドレスとして用いる方法	452
2) 対比表を用いる方法	453
3) 間接アドレスを用いる方法	454
2. 直接データ・セットの処理	456
1) BSAMによる直接データ・セットの作成	459
2) BDAMによる直接データ・セットのレコードの取出し	465

3) BDAMによる直接データ・セットへのレコードの追加と レコードの更新	471
--	-----

第7章 ジョブ管理の諸機能とその構造477

一. 資源管理の歴史的発展過程	477
二. ジョブ管理の機能とその基本構造	488
1. ジョブ管理の主要な機能	488
2. ジョブ・スケジューラーの機能構造とジョブ制御言語	491
1) ジョブ・スケジューラーの機能構造	492
2) ジョブ制御言語の働き	495
3. マスター・スケジューラーの機能構造	499
4. 順次式ジョブ・スケジューリング・システムの機能構造	505
5. 多重ジョブ処理と優先式ジョブ・スケジューリング・ システムの機能構造	509
1) 多重ジョブ処理とスプールの構想	511
2) 優先式ジョブ・スケジューリング・システムの機能構造	520
三. ジョブの実行サイクルとシステムの内部構造	526
1. 順次式ジョブ・スケジューリング・システムのジョブの実行 サイクル	527
2. 優先式ジョブ・スケジューリング・システムのジョブの実行 サイクル	532
1) 優先式ジョブ・スケジューリング・システムの主記憶装置の構成	532
2) 優先式ジョブ・スケジューリング・システムのジョブの処理サイクル	541
3) 指令処理の内部構造	547
4) ジョブ処理の内部構造	553
四. ジョブ制御ステートメントの構造	561
1. ジョブ制御ステートメントの作成規則と基本的機能	562
1) ジョブ制御ステートメントの作成規則	562
2) 入力ジョブの流れの構成	569
3) ジョブ制御ステートメントの機能の要約	570
2. JOBステートメントでの主要な指定内容	572
1) 会計情報の指定	572
2) プログラマー名の指定	574
3) メッセージ・レベルの指定	575

4)	ジョブの終了条件の指定	576
5)	システム出力装置以外の装置へのメッセージ出力の指定	578
6)	ジョブの実行の一時保留の指定	579
7)	領域の大きさの指定	580
8)	ロールアウトの指定	580
9)	ジョブの実行時間の制限指定	582
10)	優先順位とジョブ・クラスの指定	583
3.	EXEC ステートメントでの主要な指定内容	584
1)	プログラム名ないしはプロシージャ名の指定	585
2)	バイパス条件の指定	587
3)	会計情報の指定	590
4)	処理プログラムに受渡すパラメータの指定	590
5)	ジョブ・ステップの実行時間の制限指定	591
6)	ジョブ・ステップごとの領域の大きさの指定	592
7)	ロールアウトの指定	592
4.	DD ステートメントでの主要な指定内容	593
1)	DISP パラメータの指定	595
2)	データ・セット名 (DSNAME) の指定	599
3)	装置のタイプに関する指定	604
4)	ボリューム通し番号とそれに関連する情報の指定	611
5)	DASD上のスペースを要求する指定	616
6)	チャネル使用の最適化に関する要求	616
7)	データ・セット・ラベルに関する情報の指定	618
8)	データ・セット属性とアクセス方式の要件に関する指定	621

